

【当時のクラスの思い出】

改めて当時を振り返ってみると、一人ひとり能力が高いというのが第一印象でした。1年間をとおして、様々な行事がありましたが、どの場面においても、それぞれが自分のもてる力をうまく発揮しながら進めていたなと思います。最上級生として、責任をもって下級生に接していたのも担任として誇らしかったです。

現在は実施されなくなった岩井臨海学校も今となっては貴重な思い出です。あれ以来、海に入っていないような気がします・・・。3泊4日の魚沼移動教室でみなさんと歩いた尾瀬の景色は今でも鮮やかに蘇ってきます。宿の部屋でダンスをしていた人もいましたね（笑）。

学芸会の年でもありました。「人間になりたがった猫」。チームワークがものをいう演劇ですが、熱く役を演じる人、舞台を支える人、音楽を奏でる人、よりよい劇にするためにアイデアを出す人など、学年一丸となって取り組む姿がステキでした。圧倒的なパフォーマンスは、会場全体の視線を釘付けにしていましたね。

思い出話は尽きませんが、みなさんとの1年間はアツという間に過ぎ去っていきました。最後に担任した6年生がみなさんでよかったと改めて思います。

【現在の近況報告】

今は、杉並区内の中学校に勤務しています。異動先が中学校と決まったときは、正直驚きました。赴任前は、うまくやっていけるかどうか不安になることもありましたが、同僚たちのおかげで今では中学校も悪くない、それどころか楽しいと思えるようになりました。同じ学校でも、小学校と中学校ではその「文化」が異なることが多いのも事実ですが、めざす先は同じなので、毎日充実しています。

巷では、教員の勤務について、様々な報道がされていて、その影響もあってか、教員採用試験の倍率も低調です。でも、ずばりいいですが、教員はとて素晴らしい職業だと確信しています。苦勞することもたくさんありますが、子どもたちと過ごすとその苦勞がいとも簡単に回収されていく不思議な職業です。すぐに成果が見えないもどかしさに直面することもあります。人を育てることは、間違いなく未来をつくることにつながります。みなさんの中から、教師になる人がいるかもしれない、そう考えるだけでワクワクしてしまいます。（教員へのお誘いになってしまい、申し訳ない・・・）

【卒業生へのお祝いの言葉】

20歳、おめでとうございます。成人年齢が18歳に引き下げられましたが、やはり20歳は特別な感じがしてしまいます。そんな20歳にみなさんがなったということを改めて考えると、感慨深いものがあります。12歳だったあの頃から、8年間。その月日は、楽しいことばかりではなかったはず。たくさんの悩みに振り回され、思いどおりにいかなかったこともあったと思います。悲しみ、苦しみを心ですり減らした人もいたかもしれません。でも、今日無事に「はたちのつどい」に参加できたのは、それらに打ち勝ち乗り越えてきたからです。それって、とてもステキなことだと思います。私もまだまだ未熟者ですが、人生は自分磨きの旅だと思っています。20歳までの旅と、これから20年間の旅は、一味も二味も違ったものになります。みなさんがそれをどう楽しんでいくか、期待しかありません。いつかどこかで、みなさん会うことがあったら、歩いてきた道について話を聞かせてください。みなさんの旅が、これからも彩り豊かなものになるように心から願っています。